

南つるぎ地域活性化協議会によるシカネット設置後の 植生回復調査結果について

平成 30 年 7 月 6 日
徳島森林管理署
南つるぎ地域活性化協議会

6 月 17 日、徳島署と南つるぎ地域活性化協議会が、平成 28 年 5 月に鎗戸国有林 135 林班内に設置したシカ害防止ネット内外の植生調査を行いました。今回は、その調査結果について報告します。

平成 28 年 5 月に設置したシカ害防止ネットは、広さ約 900m² で、設置から 2 年が経過したもので、今回は設置後の植生について調査・確認しました。



ネットに入り生育している植物を確認



徳島職員も植物を確認しました

今回の植生調査でシカ害ネット内において確認できた植物は、全体で 28 種でした。シカ害ネットを設置した当時は、多くの植物がシカの食害に遭い所々では、表土が浸食されている箇所もありました。



シカネット内の現(H30.6)の状況

確認できた植物は、アカカンバ、シモツケ、コゴメウツギ、ヤマイヌワラビ、テキリスゲ、リョウブ、イ(イグサ)、フジイバラ、クマイチゴ、ベニバナニシキウツギ、シシガシラ、コミネカエデ、ミヤマクマザサ、ヘビノネゴザ、ツツジ類、ナナカマド、イタドリ、タラ、ノリウツギ、カエデ、ミヤマワラビ、イシヅチテンナンショウ、ヒゴグサ、シロドウダン、イワヒメワラビ、ホソバイラクサ、ススキ、スゲ属です。



アカカンバ



シモツケ



ユゴメウツギ



ヤマイヌワラビ

また、シカ害ネットの周辺(外側)でも植生調査を行い、イワヒメワラビなど全6種の植生を確認できました。



イワヒメワラビ



リョウブ

シカ害ネット内の植被率は約95%で、シカ害防止ネット周辺(外側)では約40%と明らかにシカ害防止ネットを設置したことにより、確実に植生が回復していることが確認できました。

また、シカ害防止ネット内で確認できた植物は、平均して60cmの高さまで生長していますが、ネット周辺(外側)の植物は、平均して40cmと低く、現在でもシカによる食圧があることが確認できました。

徳島森林管理署では、引き続き南つるぎ地域活性協議会をはじめとする各種団体と連携し、喫緊の課題であるシカ害対策に取り組んでいきます。